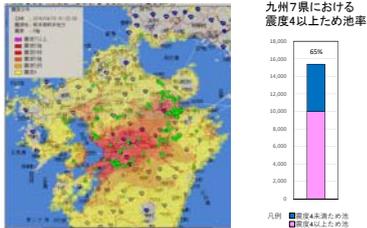


# 平成28年熊本地震への取り組み

熊本地震(本震)  
日時:2016/04/16 01:25  
最大震度:震度7  
マグニチュード:7.3

地震発生

熊本地震では農地や農業施設にも大きな被害がありました。これらはその一部です。



○推計震度分布は気象庁発表データを利用  
○緑の丸は点検を要するため池を示す  
(震度5弱以上で堤高10mまたは貯水量10万トン以上)

ため池の防災を支援する情報システム(※)を利用し、気象庁から発表される推計震度の分布をため池の位置と重ね合わせ、点検を要するため池を農水省へ連絡しました。

※本システムは、農研機構と一般財団法人日本水工総合研究所、(株)ジー・アンド・エスが共同で開発した「ため池防災データベース」を基に開発したものです。

## 災害対策派遣支援の経過

回数	期間	場所	主な作業内容	派遣者 (除く行政関係者)
1次	4月19日 ～21日	熊本県西原村 熊本市等	被災ため池等、先遣調査	農村工学部門3
2次	4月20日 ～25日	熊本県豊野町、 宇城市	被災ため池の調査(含む 亀裂の電気探査)	農村工学部門3
3次	4月20日 ～22日	熊本県産山村	国営ダム堤体クラックの 調査等	京大1、農村工学部 門1、水工総研2
4次	4月21日 ～24日	大分、福岡、 佐賀県下	国営ダム地震加速度デー タの計測・収集・分析	農村工学部門1
5次	4月26日 ～28日	熊本県阿蘇市	農地の大規模な亀裂調査 と復旧方法等	農村工学部門3、 NN学会2
6次	4月26日 ～29日	佐賀、宮崎県 下	国営ダム地震加速度デー タの計測・収集・分析	農村工学部門1
7次	4月27日 ～30日	熊本県益城町、 宇土市等	被災ため池の調査、2次 災害防止対策	農村工学部門3
8次	5月19日 ～20日	熊本県産山村	被害調査、復興に向けた 対策技術の検討	京大1、農村工学部 門1、水工総研2
9次	6月7日	熊本県甲佐町、 南阿蘇町	被災した園芸ハウスの技 術的助言	農村工学部門2、野 菜花き部門1
10次	8月4日 ～5日	熊本県西原村、 大津町	甘藷貯蔵庫の被災調査及 び復旧技術助言	農村工学部門2、九 沖農研1

※農村工学部門:農研機構農村工学研究部門、野菜花き部門、農研機構野菜花き研究部門、九州農研:農研機構九州沖縄農業研究センター、水工総研:日本水工総合研究所、NN学会:農業農村工学会

熊本地震では、農水省の要請を受け、農村工学部門からのべ20名が現地へ赴きました



例えば、ため池の亀裂に石灰水を流し込む際に、電気による地中探査(電気探査)を合わせて行い、その結果を図化して、どこまで亀裂が入っているのかを推定する技術を活用しました。